

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320263	XZY2320263			国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	3年
国際ビジネス英語 5A	高橋 紗子	1	後期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

TOEICを踏まえた演習問題に取り組みながら、英語の基礎力を高めることを目標とする。テキストの1UnitはTOEICのすべてのPartの問題で構成されているので、毎回すべてのPartを万遍なく演習する。[Warm-up]でUnitのトピックに係る基本単語と復習としてのディクテーションをテストし、リスニング、リーディングの順で授業を進める。予習を前提に授業を行うので、受講生には事前の準備が求められる。

各回毎の授業内容

第1回

【授】Course Orientation

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第2回

【授】Unit 1 Campus Life

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第3回

【授】Unit 2 Student Life

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第4回

【授】Unit 3 Eating & Drinking

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第5回

【授】Unit 4 Shopping

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第6回

【授】Unit 5 Health

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第7回

【授】Unit 6 Business Situations

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第8回

【授】中間試験

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第9回

【授】Unit 7 Daily Life

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第10回

【授】Unit 8 Post Offices & Banks

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第11回

【授】Unit 9 Entertainment

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第12回

【授】Unit 10 Trips & Vacations

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第13回

【授】Unit 11 Meetings

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第14回

【授】Unit 12 Jobs

【前・後】予習に1時間、テキストの該当箇所を学習すること。また復習に1時間、授業で取り上げた箇所が定着するように学習すること。

第15回

【授】期末試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							40
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

課題に対するフィードバックの方法

前回の小テストを採点して返却。解説を行う。

教科書参考書

Next Step to the TOEIC Test(朝日出版社)

受講に当たっての留意事項

出席3分の2が必要である。教科書の[Warm-up]の重要語句の英単語テストとリスニングの復習となるディクテーションテストを随時行うので、順して臨むこと。

学習到達目標

国際学部ディプロマポリシーである「高度な語学運用能力をもって異文化理解」と「国際社会なる多文化状況にあってポジティイブに協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力」を育成するため、実用英語の指標となるTOEICのスコアを上げられるようリスニングとリーディング力を強化する。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習